

## 2020 年 CEO メッセージ

2020 年の世界の政治・経済は、昨年以上に目まぐるしく変動する年になると思われます。

それは、過去 10 年の間、多国間の協調外交や安定したグローバル経済をリードするリーダー不在が続き、引き続き各国間の緊張が解消されずに進む 1 年と思われます。

こうした中で、日本経済は東京オリンピックなどイベント景気に支えられ、企業の業績回復への期待から景気が持続的拡大の期待感があるものの、不透明な世界経済の展開次第では、国内金融市場は大きく影響を受けることから緊張感が続く年であると予測します。

### Oak キャピタルのイノベーション

当社は、2019 年に投資銀行事業から総合ファイナンシャル事業の構築を目的に、証券事業とアセットマネジメント事業を加えた 3 事業分野で金融事業の展開を開始しました。

2020 年は、これらの事業基盤を活かし、各分野で実績と成果をあげていくことが最大のミッションです。

### Oak キャピタルグループの使命

投資銀行事業の最大のミッションは、日本経済のエンジンである上場企業の更なる躍進の一端を担う投資銀行として、上場企業の成長シナリオ支援を行い、企業価値を高めることです。また、投資銀行業務は普通銀行が出来ないリスクを取った直接金融による企業の財務支援を行うことも重要な役割です。

証券事業・アセットマネジメント事業は、質の高い運用商品を創り出し、あらゆる投資家に沿った運用商品を提供していきたいと考えています。本年から投資家向けに各種資金運用を開始する予定です。

国内経済は、2020 年東京オリンピック後の国内景気の変動が云われておりますが、こうした状況下で投資銀行業務・証券業務・アセットマネジメント業務の役割は重要になると予想しております。

当社は常に先を見据え、冷静かつ大胆に各業務の展開を図ってまいります。

### コーポレート・ガバナンス充実およびコンプライアンス重視の経営

当社は全てのステークホルダーに期待および信頼される総合ファイナンシャルグループとして、持続的に企業価値を高めていくことを経営の基本方針としております。その方針に基づき、コーポレート・ガバナンスを重要な経営課題の一つと位置付け、経営全般の効率性を確保し、社会との信頼関係をより一層の強化を目指してまいります。

また、コンプライアンスを重視し、金融庁や証券取引所、その他監督官庁の定める厳正かつ公正なルールに従うと共に、常に透明性を意識した事業展開をおこなってまいります。

### 株主還元方針

当社は常に企業価値・株主価値の向上を目指し、積極的な事業展開と収益基盤の強化を通じ、継続的に株主還元を高めていくことを株主へのコミットとしております。

2020 年 1 月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康